

書簡と遺稿が伝える 哲学者九鬼周造の面影



九鬼周造肖像（甲南大学図書館所蔵）

甲南大学図書館には、哲学者九鬼周造の遺した数々の書簡や原稿が保管されており、現在、公開に向けた調査と翻刻作業が続けられています。

哲学の分野において、思想家の書簡や遺稿の発見はどのような意味を持つのでしょうか。未公開資料の発掘の魅力や遺品の公開の難しさはどこにあるのでしょうか。そして、京都学派周辺の哲学の再評価が進むなかで九鬼周造の新資料の公開はいかなる意義を持つのでしょうか。

このシンポジウムでは、石川県西田幾多郎記念哲学館において西田幾多郎の遺した資料の保存や翻刻に長年携わられた中嶋優太氏から哲学分野における遺稿の扱いの特性について教えていただき、九鬼周造書簡の翻刻作業に貢献してこられた小浜善信氏から未公開資料の諸問題をお話しいただいたうえで、遺稿の扱いという角度から近代日本哲学史を考察します。

シンポジスト

中嶋 優太 氏（石川県立看護大学講師、石川県西田幾多郎記念哲学館研究員）

小浜 善信 氏（神戸市外国語大学名誉教授）

進行 **西 欣也**（甲南大学教授）

日時：2022年12月17日（土）13:00～15:00

場所：甲南大学 18号館 講演室
入場無料



お申し込みはこちら

申し込み期間：2022年10月25日（火）～12月10日（土）

申し込みフォーム：<https://forms.office.com/r/SFbzGz2Pjv>

右のQRコードまたは上のURLからお申し込みください。申し込み完了後、詳細案内メールをお送りいたします。●終了時間は前後する場合があります。●公共交通機関を使ってご来所ください。●新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いいたします。●感染状況によっては、変更・中止となる場合があります。ご来場の前にホームページをご確認ください。

